

めざす児童生徒像

- ・互いを認め、尊重し合い、互いに高め合う生徒
- ・意欲を持ち、主体的・協同的に活動する生徒
- ・互いの考えを、正しく伝えあい、聴き合える生徒
- ・集団の規律やマナーを守り、場に応じた行動ができる生徒
- ・健康や体力増進に努め、心身ともに健やかな生徒

※児童生徒結果－教員結果・保護者結果

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策	
				教員	児童生徒	保護者				
学校重点項目 (学校で設定)		①②の教員アンケート結果が90%以上になる。	① 学級会、kokuhuトーク、国府の集いの定例化など、主体的・対話的な活動の充実を図っている。							
			② 授業を含め様々な教育活動の中で、生徒指導の4つの視点を生かした取り組みを実践している。							
			集計							
重点項目 石川県共通 働き方や 業務の改善		働き方改革や業務の改善に向けて意識し、各項目の結果が90%以上になる。	① 80時間越えゼロに向け、時間外勤務の削減に取り組んでいる。							
			② 学校組織の中で自分の役割が明確であり、創意工夫しながら取り組むことができている。							
			集計							
小松市共通重点項目	学校研究	①②の教員アンケート結果が90%以上になる。	① 研究主題に迫る目指す授業スタイルを共有し、単元(授業)構想シートなどの具体的な取組を共通実践している。							
			② 授業研究では、教職員一人一人が子供の姿を語ったり、改善案を示したりするなど主体的に取り組んでいる。							
			集計							
	指導力の向上	「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善	①②の教員アンケート、生徒アンケート結果が80%以上になる。	① 児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。						
				② 児童生徒は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。						
				③ 児童生徒は、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。						
				④ 児童生徒は、話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて自分の考えを伝えている。						
				⑤ 児童生徒は、振り返る活動の中で、授業の目標に沿って自分の学びの変容を実感したり、学びに対する達成感を得られたりしている。						
学力の向上	カリキュラム・マネジメント	②の項目の教員アンケート結果が90%以上になる。	① 指導計画の作成に当たっては、学校の教育目標の実現に向け、各教科等の教育内容を教科横断的な視点で組み立てている。							
			② 児童生徒や学校、地域の実態を捉えて教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。							
			③ 全職員が学力向上の取組の目的や意義を理解し、課題の解決を期待できると納得して共通実践に取り組んでいる。							
			④ 校区の小・中学校間で学力について情報交換し、課題について共有している。(小中連携)							
			集計							
家庭学習		①の教員アンケートおよび生徒アンケート結果が80%以上になる。	① 家庭学習の取組として、学習方法や課題の課し方等を校内で共通理解を図っている。							
			② 学習用端末を活用した家庭学習に取り組めるよう課題を工夫している。							
			集計							